

平成29年度
二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた
設備整備事業)

応募申請
様式1・2及び3
記入にあたっての注意事項

一般社団法人 低炭素社会創出促進協会

様式1・2・3の入力ファイルの概要

【様式1-〇応募申請書】【様式2-〇実施計画書】及び【様式3-〇経費内訳】はひとつのエクセルファイルで構成されています。

事業によって使用するエクセルファイルが異なりますので、必ず**入力前に応募を希望する事業のファイル様式であるかを確認**のうえ、ご利用ください。

ワークシートの構成について

【様式1】 応募申請書

【様式2-〇】 実施計画書

【様式3-〇】 経費内訳

The image displays three overlapping Excel worksheets. The top-left sheet is '様式1' (Application Form), the middle sheet is '様式2-〇' (Implementation Plan), and the bottom-right sheet is '様式3-〇' (Expense Breakdown). Red dashed lines connect text boxes to specific fields in the worksheets. A red box at the bottom contains instructions to confirm the project name.

Red Box 1 (Top Left): 申請する事業の名称を確認してください。

Red Box 2 (Middle): 申請する事業の名称を確認してください。

Red Box 3 (Bottom Right): 申請する事業の名称を確認してください。

Red Box 4 (Bottom): 申請する事業の名称を確認してください。

申請する事業の名称であることを確認してください。

様式1 記入上の注意事項

日付をご記入ください。

【様式1】

平成29年 月 日

一般社団法人低炭素社会創出促進協会
代表理事 吉澤 保 幸 殿

住 所
法 人 名
代 表 名

印

平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業)
エコレールラインプロジェクト事業 応募申請書

標記について、以下の必要書類を添えて申請します。

1. 実施計画書(様式2)と、様式2に記載の根拠資料
2. 経費内訳(様式3)と、様式3に記載の根拠資料
3. 応募者の業務概要及び定款又は寄附行為
4. 応募者の経理状況説明書(直近2決算期の貸借対照表及び損益計算書)
5. その他参考資料

(担当者欄)

郵便番号：
住 所：
所属部署：
役 職 名：
氏 名：
T E L：
F A X：
E - mail：

注 1 個人企業の場合は、業務概要及び定款又は寄附行為として、印鑑証明書の原本及び住民票の原本(いずれも発行後3ヶ月以内のもの)を提出すること。また、認可を受けている者等は、設立の認可を受け、又は設立の認可が適当であるとされた法人の定款又は寄附行為の案を提出すること。ただし、この案が作成されていない場

▶ 【様式1】応募申請書 【様式2-3】エコレール 【様式3-3】経費内訳

【様式2】で記載いただく内容が【様式1】転記されます。

(【様式1】上での記入は不要)

様式2 記入上の注意事項

『項目』

『記入するセル』
※実際に入力するセル

『記入すべき内容について』
※左記記入欄に記入すべき内容の説明及び注意点

項目		記入欄	記入すべき内容について
事業実施の団体名(代表事業者)			※正式名称を記入する。
代表者	氏名		
	役職		※法人格の代表権を持つ方に關する事項を記入する。
	所在地		
事業実施者の代表者の	氏名		
	役職		
	所属番号		
	所在地		※事業を実施する代表者の方に関する事項を記入する。
	電話番号		
	FAX番号		
共同事業者	事業実施責任者		
	氏名		※公事業債に記載された「補助事業者」に該当すること。
	所属部署・役職名		※共同事業者とは、本補助事業に参画するすべての事業者のうち、代表事業者以外の事業者のことを指す。 [代表事業者とは、本補助金の取組を行い、交付の対象となる事業者のことを指す。]
	電話番号		
	FAX番号		
事業の実施場所と設備配置図	事業実施場所名		※別紙【様式不問】に事業実施位置、導入設備の配置図を添付する。 記入欄には、別紙の資料番号を記入すること。
	住所	都道府県名	※事業実施場所の名称を記入する。 ※複数箇所ある場合は、代表的な(箇所)を記入し、その他は別紙【様式不問】に記入する。別紙を添付する場合は、記入欄には資料番号を記入すること。
		区又は市区町村名	※都道府県名を記入する。 ※複数箇所ある場合は、代表的な(箇所)を記入し、その他は別紙【様式不問】に記入する。別紙を添付する場合は、記入欄には資料番号を記入すること。
		町域・番地等	※記入例：【札幌市】〇〇区、〇〇市〇〇区、〇〇市、〇〇郡〇〇町、〇〇郡〇〇村 ※複数箇所ある場合は、代表的な(箇所)を記入し、その他は別紙【様式不問】に記入する。別紙を添付する場合は、記入欄には資料番号を記入すること。
事業の目的		※本事業の目的を概ね200字程度で簡潔に記入する。	

様式2 記入上の注意事項

着色のセルにはブランクの無いようにすべてご記入ください。
(『共同事業者』関連のセルは除きます。)

【様式2-3】		公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業 実施計画書 (エコレールラインプロジェクト事業)		
項目		記入欄		記入すべき内容について
事業実施の団体名(代表事業者)		虎ノ門株式会社		※正式名称を記入する。
代表者	氏名	虎ノ門 一郎		※法人格の代表権を持つ方に関する事項を記入する。
	役職	代表取締役社長		
	所在地	東京都港区虎ノ門1-1-12		
事業実施の代表者の	氏名	虎ノ門 二郎		※事業を実施する代表者の方に関する事項を記入する。
	役職	〇〇事業部長		※郵便番号はハイフンなしの数値のみ7ケタを入力してください。([〒000-0000]形式で表
	郵便番号	〒111-1111		
	所在地	東京都港区虎ノ門1-1-12		
	電話番号	03-111-1111		
	FAX番号	03-111-2222		
	E-mailアドレス	・・・@lcspa.jp		
(事業の実施の窓口となる方)	氏名	虎ノ門 三郎		
	所属部署	〇〇事業部		※郵便番号はハイフンなしの数値のみ7ケタを入力してください。([〒000-0000]形式で表
	役職	係長		
	郵便番号	〒111-1111		
	所在地	東京都港区虎ノ門1-1-12		
	電話番号	03-111-2222		
	FAX番号	・・・@lcspa.jp		
	E-mailアドレス	・・・@lcspa.jp		
経理	氏名	虎ノ門 司郎		※本事業の経理責任者となる方に関する事項を記入する。
	所属部署	経理部		※郵便番号はハイフンなしの数値のみ7ケタを入力してください。([〒000-0000]形式で表
	役職	部長		
	郵便番号	〒111-1111		

【様式2】の『代表者』及び『実施事業の担当者(事業の窓口)となる方』のセルは【様式1】の該当部分に転記されます。

様式2 記入上の注意事項

別紙として参考資料を添付した場合の記入の仕方

数値の入力を求められているセルに半角で数値の入力をいただくと、自動的に単位も表示されます。

CO2削減効果 (直接効果)		別添〇〇参照	30.55 t-CO2/年	※CO2削減効果 [t-CO2/年] を数値のみ入力する。(単位は自動的に表示されます。) ※CO2削減効果算出に係る詳細、記載する各々の設定根拠・引用元に係る具体的資料を添付し、記番号を記入すること。 ※算定根拠については、原則「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック<補助事業申請者用> (月環境省地球環境局)」(URL: http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local.html)において使用されるファイル(「ハード対策事業計算ファイル」)により、事業の直接効果を算定した上で、同ファイルに必要の資料を添付すること。 ※1つの事業で複数種類の設備を導入する場合、導入設備ごとにCO2削減効果を算出し、合算すること。導入設備ごとに「ハード対策事業計算ファイル」を作成し、添付すること。
CO2削減コスト算出について		別添△△参照		※以下の算出に用いる法定耐用年数の根拠となる資料を添付し、記入欄に資料番号を記入すること。 ※以下のCO2削減コスト算出方法、算出結果等を記載した別紙を添付し、記入欄に資料番号を記入すること。 ※1つの事業で複数種類の設備を導入する場合、導入設備ごとにCO2削減コストを算出し、合算すること。複数年度に亘り事業を実施する場合、以下の計算に使用する総事業費は各年度の総事業費の合計額とする。
①	法定	【総事業費】に対するCO2排出量1トン削減するために必要なコスト [円/t-CO2]	25,000円/t-CO2	※以下の計算式で算出したCO2削減コスト [円/t-CO2] を記載する。 【計算式】 CO2削減コスト [円/t-CO2] = 総事業費 [円] ÷ (導入設備の法定耐用年数 [年] × CO2削減量 [t-CO2/年])

- ※様式の欄には、参照先の資料番号がわかるように記載してください。
- ※参考資料は、検索しやすいように、資料番号(インデックス)を付けてください。

様式2 印刷時の注意事項

セル内に記入する内容が収まりきれない場合は、セルの行の高さを調整してください。印刷した場合でも文字が切れないか、確認をしてください。

必要に応じて、セル内で改行してください。セル内での改行はAltキー + Enterキーでできます。(Macの場合はoptionキー + commandキー + Enterキー)

他の補助金との関係	該当なし	※当該補助金以外の国の補助金等への応募状況等を記載する。該当がない場合は記載不要。
事業実施の前提事項	6 ページ	※補助事業遂行上、許認可、権利関係等関係者間の調整が必要となる事項について記載してください。
設備の保守計画	管理責任者: ○●● 保守計画:	※設備の管理責任者名を記載する。 ※導入する設備の保守計画について記載する。
実施スケジュール	別紙◆◆参照	
事業開始日 ※契約予定日		平成29年8月25日
事業完了日 ※機収完了予定日		平成29年1月31日

印刷時に文章が途中で切れないように、行の高さを調整してください。

様式 2 印刷時の注意事項

印刷プレビュー画面で、横幅が A 4 縦 1 枚に収まっていることを確認し印刷してください。
※記入説明部分の印刷は不要です。

The screenshot shows a printing software interface. On the left, there are several sections: '印刷' (Print) with a printer icon and '部数: 1' (Number of copies: 1); 'プリンター' (Printer) showing 'RICOH MP C5503 JPN RPCS' and '準備完了' (Ready); '設定' (Settings) with various options. Two options are highlighted with red dashed boxes: 'A4 (210 x 297 mm) 21 cm x 29.7 cm' and 'すべての列を 1 ページに印刷' (Print all columns on 1 page). The right side shows a preview of a document page with a table and some text. The page number '5 / 5 ページ' is visible at the bottom.

印刷

部数: 1

プリンター

RICOH MP C5503 JPN RPCS

準備完了

プリンターのプロパティ

設定

作業中のシートを印刷
作業中のシートのみを印刷します

ページ指定: から

両面印刷
長辺を綴じる

部単位で印刷
1,2,3 1,2,3 1,2,3

ホチキス止めなし

縦方向

A4 (210 x 297 mm)
21 cm x 29.7 cm

ユーザー設定の余白

すべての列を 1 ページに印刷
幅が 1 ページに収まるように印刷イメ...

ページ設定

5 / 5 ページ

【様式 2-2】
公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業 実施計画書
【エコレールラインプロジェクト事業】

項目	記入者
補助事業の実施期間	
資金計画	
補助金の取組費算出表	
他の補助金との関係	
事業実施の許諾事項	
設備の保守計画	
実施スケジュール	
事業開始日 ※契約予定日	
事業終了日 ※概算完了予定日	

注1 本計画書に、設備のシステム図・配線図・仕様書、記入内容の概算資料等を添付すること。
注2 記入欄が少ない場合は、本表紙を別を挿して使用するが、対象に記入すること。

5

様式3 記入上の注意事項

着色のセルのみに入力します。

【様式3-4】
公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業に要する経費内訳
(公共交通機関と連携した観光地の2次・3次交通の低炭素化促進事業)

所要経費	(1)総事業費	(2)寄付金その他の収入	(3)差引額 (1)-(2)	(4)補助対象経費 支出予定額
	5,000,000円	0円	5,000,000円	4,000,000円
	(5)基準額	(6)選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7)補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8)補助金所要額 (7)×1/2又は2/3
	-	4,000,000円	4,000,000円	2,000,000円

補助対象経費支出予定額内訳

経費区分・費目	金額	積算内訳
(記入例) 工事費		
本工事費		
(直接工事費)		
材料費	2,500,000	材料名(単価)×(積数)=2,500,000円
・		
・		
労務費	1,500,000	〇工(労務単価)×(工数) =1,500,000円
・		
(間接工事費)		
共通施設費		
現場管理費		
一般管理費		
合計	4,000,000円	

プルダウン
該当する申請者を選択してください
指定都市以外の市町村(これらの地方公共団体の組合を含む。)
補助率は3分の2

【観光地の2次・3次交通の低炭素化促進事業】を申請される方は
該当する申請者の種類を選択してください。
⇒補助率が(8)補助金所要額の欄に反映されます。

補助対象経費の合計金額が表示されます。

※単年度事業で申請される方は、本ワークシート【様式3-〇経費内訳】のみに経費内訳を記入してください。

様式3 複数年度事業の場合

複数年度事業（観光地の2次・3次交通の低炭素化促進事業）の場合、
【すべての年度で要する事業費全体について記入するシート】と
【各年度毎に記入するシート】の計3種類の記入・提出をお願いいたします。

◆「様式3-〇（経費内訳）」（事業費全体計）

このシートには、事業全体の経費内訳を入力してください。
複数年度事業の場合は、複数年度の事業費総額を記入します。

【様式3-4】
公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業に要する経費内訳
(公共交通機関と連携した観光地の2次・3次交通の低炭素化促進事業)

所要経費	(1)総事業費	(2)寄付金その他の収入	(3)差引額 (1)-(2)	(4)補助対象経費 支出予定額
		5,000,000円	0円	5,000,000円
	(5)基準額	(6)選定額 (4)と(5)を比較して 少ない方の額	(7)補助基本額 (3)と(6)を比較して 少ない方の額	(8)補助金所要額 (7)×1/2又は2/3
	-	4,000,000円	4,000,000円	2,888,000円

【様式3-4】経費内訳 【様式3-4】H29年度 経費内訳 【様式3-4】H30年度 経費内訳

「様式3-〇経費内訳」には、2年間の事業費の経費内訳合計を記入してください。

◆「様式3-〇（平成29年度分経費内訳）」

このシートには、平成29年度分の経費内訳を入力してください。

【様式3-4】 (平成29年度分)
公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業に要する経費内訳
(公共交通機関と連携した観光地の2次・3次交通の低炭素化促進事業)

所要経費	(1)総事業費	(2)寄付金その他の収入	(3)差引額 (1)-(2)	(4)補助対象経費 支出予定額
		2,000,000円		2,000,000円
	(5)基準額	(6)選定額 (4)と(5)を比較して 少ない方の額	(7)補助基本額 (3)と(6)を比較して 少ない方の額	(8)補助金所要額 (7)×2/3又は1/2
	- 円	2,000,000円	2,000,000円	1,333,000円

【様式3-4】経費内訳 【様式3-4】H29年度 経費内訳 【様式3-4】H30年度 経費内訳

◆「様式3-〇（平成30年度分経費内訳）」

このシートには、平成30年度分の経費内訳を入力してください。

【様式3-4】 (平成30年度分)
公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業に要する経費内訳
(公共交通機関と連携した観光地の2次・3次交通の低炭素化促進事業)

所要経費	(1)総事業費	(2)寄付金その他の収入	(3)差引額 (1)-(2)	(4)補助対象経費 支出予定額
		3,000,000円		3,000,000円
	(5)基準額	(6)選定額 (4)と(5)を比較して 少ない方の額	(7)補助基本額 (3)と(6)を比較して 少ない方の額	(8)補助金所要額 (7)×2/3又は1/2
	- 円	2,000,000円	2,000,000円	1,333,000円

【様式3-4】経費内訳 【様式3-4】H29年度 経費内訳 【様式3-4】H30年度 経費内訳

「様式3-〇（平成●年度分経費内訳）」には、各年度毎の事業費の経費内訳を記入してください。